「SDGs」の視点を取り入れた様々な活動から学び、一歩踏み出す素地を身につける

ネイパル北見

N-SDGs⑤
ネイパル 好き！大好き！グループスタディ！

1　事業のねらい

様々な体験活動に挑戦し、仲間と向き合い、新たな知識や技能を身につけるとともに、チャレンジ精神を育む。(The First Penguins!)

2　事業の概要

■期日 R６.11.30(土)～12/1（日） １泊２日
■対象 小学３年生～６年生・中学生
■人数 10 名
■場所 ネイパル北見

3　プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
11/30（土）					受付	明日の準備	昼食	明日の活動 準備作業 （Thanks Dayに一部参加）					特別夕食	入浴＆自由時間	ふりかえり	就寝準備	就寝
12/1（日）		起床	散歩	朝食	部屋点検	ネイパルThanks Dayにて N-SDGsの啓発活動 （ブース体験に一部参加）				片付け	ふりかえり	解散					

4　ねらいを達成するための活動の工夫

■啓発活動を促進するため、同時開催の主催事業への取り込み
・同時に開催した主催事業で子どもたちが啓発活動及び経済活動ができる活動ブースを設定した。準備がスムーズに進められるように、事業参加者やボランティアとともに準備段階から活動できるように工夫。
■SDGsウェディングケーキのトップである経済活動の実践
・金銭感覚や募金の寄付先の選定など、子どもたちをサポートした上で、これまでの学びを活かし、自分たちで計画した販売活動の実施。

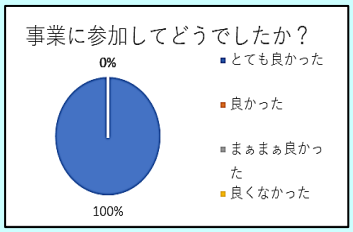
SDGsクイズチームの啓発活動

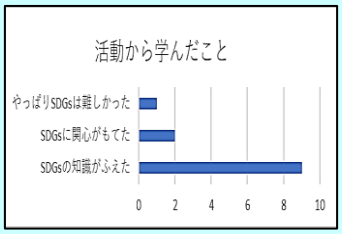
物品販売＆募金チームの活動

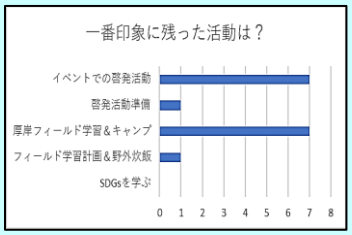
SDGsクイズ啓発活動と物品販売＆募金チームで集めた金額は7,620円になり、子どもたちが選択した日本ユニセフへ寄付を行った

5　事業の評価（ふりかえりから）

■全5回の活動を終え、最終的な事業の満足度評価は100%であった。
学びからアクションを起こす大切さを学んだことがうかがえる。
■参加者の感想
・普段生活しているときも、SDGsに気を配りながら３R（リユース・リデュース・リサイクル）なども心掛ける。
・環境への危機感が芽生えた。
・SDGsの知識がふえたことで、難しさも知った。







6　ねらいを踏まえた成果と課題

●SDGsの学習・活動に子どもたちが主体的に関わることで、事業本来の目的である「小さな行動を起こす力」「チャレンジすることの意義」の理解を深めることができた。
知識が増えたことで、違うテーマにも興味関心をもつことができた。
○SDGsのテーマが広く、参加者の学年などによる理解度にギャップがあるため、活動内容の選定が難しい。また事業の成果が確認しづらいため、取り組む上でわかりやすい活動内容の吟味が必要である。

企画のポイント

年間で活動し、SDGs Wedding Cakeの3層全てについて学び、17の目標達成に向け、小さな行動を起こす力を身に付ける。